

会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回和泉市生涯学習推進委員会
開催日時	令和5年5月31日(水) 15:00~15:55
開催場所	和泉市役所本館 3階 3A会議室
出席者	生涯学習推進委員(8/9名出席) 傍聴者なし
会議の議題	<p>1. 教育長挨拶</p> <p>2. 報告</p> <p>(1)「和泉市生涯学習・スポーツ推進計画」に基づく生涯学習活動の主な取り組みについて</p> <p>(2)令和5年度いずみ市民大学の事業予定について</p> <p>(3)生涯学習情報サイトの構築及び生涯学習情報誌「まなびのいずみ」等の廃刊について</p> <p>3. その他</p>
会議の主旨	生涯学習活動の支援に向けた方針検討並びに生涯学習施策の総合的な推進に向けて調査及び審議を行う。
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他
その他の必要事項	

■ 審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

(司会進行:事務局)

・事務局より会議開催についての説明

本会議は公開することとなっていること、傍聴者がいないこと、を報告

会議資料の確認

・事務局より出席委員数の確認

委員総数9名のうち、出席者8名、欠席者1名となっており、和泉市社会教育委員会議規則第5条の規定に基づき、会議は成立していることを報告。

(司会進行:駒澤委員長)

1. 教育長挨拶

2. 報告

(1)「和泉市生涯学習・スポーツ推進計画」に基づく生涯学習活動の主な取り組みについて

(2)令和5年度いずみ市民大学の事業予定について

(3)生涯学習情報サイトの構築及び生涯学習情報誌「まなびのいずみ」等の廃刊について

報告(1)事務局説明

令和4年度末に策定した「和泉市生涯学習・スポーツ推進計画」において、『市民誰もがくわわる つながる ひろがる 生涯学習・スポーツの実現』を基本理念とし、「くわわる」の部分については、生涯学習サイトの構築により情報提供の充実を図ること、「つながる」の部分については、いずみ市民大学のリニューアルを行い学習の場の充実を図ること、「ひろがる」の部分については、学校の部活動の地域移行を視野に入れた指導者の人材育成に努めることを主な取組内容とした。

また、本計画のスポーツ施策、読書施策に関する項目を除いた生涯学習の推進にかかる項目の進捗管理については、引き続き本生涯学習推進委員会にて行いたいと考えている。

委員:生涯学習サイトを構築し情報提供の充実を図るとのことだが、サイトだと自らわざわざ見にいけないといけなようなものになるのではないのか。普段パソコンやスマートフォンにあまり触れない方には、届かず、情報提供の充実とは相反するのではないか。

事務局:和泉市の公式LINEの登録者数が約8万人いることから、その公式LINEのトップページから見にいけるようにすれば、多くの市民に届けられるのではないかと考えている。紙媒体は市の予算方針に従い廃止という判断をしたが、今後必要性があれば再度作成することも考えられる。

委員:広報いずみへの記載をとりやめるということではないか。

事務局:広報いずみへの実施事業の掲載については、今まで通り行います。

報告(2)事務局説明

本年度も前期・後期の教養学部、3学科から成るまちづくり学部を開催する予定で計画を進めている。

まちづくり学部については、引き続きコーディネーターとして、NPO法人サイン の宝楽(ほうらく)氏と、NPO

法人サービスグラントの堀(ほり)氏にお願いし、3つの学科で実施する予定となっている。

本年度はまちづくり本科の中に、ボランティアコーディネーターを養成する内容を組み込み、地域活動の即戦力として活躍いただける人材の育成に取り組む。また、3年後に開催が予定されている大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を主題とした講座も組み込む予定。

まちづくり学部は例年の6月開講を2ヶ月遅らせ、8月19日からの開講を予定している。

教養学部の前期及び後期講座については、それぞれ6講座の開講を予定しており、前期が5月から9月にかけての開催、後期が10月から3月にかけての開催予定。

募集案内は、「広報いずみ」や「和泉シティプラザ通信」、市のSNS等により案内、パンフレットも作成し、関係機関や関係部署に周知を図る予定。まちづくり学部は6月から募集を開始し、教養学部は往復はがきによる申込が3月31日で終了している。

委員長:なぜ観光おもてなし学科は1時間少ないカリキュラムなのか。私自身も受講しているが、受講者の多くは11回では物足りないと感じている。

それと今回検定試験対策を取り入れるとのこと。まちづくり学部創設時にも、議論して見送った経過があると思うが、そういう経緯を踏まえ、慎重に進めていただきたい。

事務局:当時、順位付けのために論文を提出してもらうとか合否をつけるという議論があったが、いずみ市民の趣旨は市民の学びを広げるものであることから、今のような形になったと認識している。しかしながら、8年目になり、同じことの繰り返しになっているという声や、学ぶことで満足し地域に活かせていない現状がある。今回の資格検定については、地域課題を解決するための資格であり、学位を与えるようなものでもないため、導入したものである。

委員:教養学部の講義内容は、どういう形で決めているのか。

事務局:講義内容は、桃山学院大学と協議のうえ、受講者アンケートも踏まえながら、内容を決めている。

委員:卒業された方に講師をしてもらうことができればいいのではないか。

事務局:教養学部は基本的に平日の連続講座となるため、難しい部分があるが、まちづくり学部では実際に卒業生に、2コマ授業を持ってもらっている。

報告(3)事務局説明

生涯学習情報サイト構築の背景と目的についてですが、これまで、市内各所で行われている学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内活動、趣味等のさまざまな場や機会において行う生涯学習に関する情報を集約するコンテンツがなかったため、市の生涯学習施策のデジタル化を図るため、情報集約・発信機能を高めるためのサイトを構築し、市民の生涯学習の推進を図ることを目的として行おうとするもの。

広報いずみに各課で掲載している④のついた生涯学習講座の集約掲載、市内民間が行っている教室の情報集約や検索ができる機能、人材データベースの集約掲載、社会教育団体の情報発信、国際交流にかんする情報発信のほか、現在はマナビイ手帳として紙媒体で記録している講座等の受講記録を集約する機能や各講座の受講率や受講者の年齢層の集計機能を持ったサイトを構築する予定。

これに伴い、「まなびのいずみ」は生涯学習に関する情報誌として、社会教育団体の活動情報や市民文化祭、はたちのおつどいなど市主催事業などを掲載し平成20年から年2回発刊してきたが、年2回という決まった時期の発刊で

あるため、タイムリーな情報発信が困難であり、新しい形での情報発信を行うため廃刊することとした。

また、「和泉市国際交流ニュース」は、国際交流に関する情報誌として、友好都市や姉妹都市との交流事業や、文化講座、子どもの作品展などの市主催事業などを掲載し平成17年から発行してきたが、令和元年からは、年1回の発行であったため、事業報告に偏った内容となっており、事業の周知やPRが困難であり、新しい形での情報発信を行うため廃刊することとした。

なお、今後の情報発信については、いずれも生涯学習情報サイトにて随時行う予定です。

委員:紙媒体でしか読めない人、WEB が苦手な人がいると思う。両方あっても良いのではないか。

和泉市の公式 LINE 登録者数が8万人いるという話があったが、届けるだけでなく、読んでもらえる工夫が必要ではないか。

事務局:貴重なご意見としてお伺いする。先ほども申し上げたが、予算方針に従い廃止という判断をしたが、今後必要性があれば再度作成することも考えられる。サイトの周知方法については、当然必要であると認識している。

委員:まなびのいずみを廃刊し、すぐに WEB のみにするのではなく、毎月広報の中の1ページに各団体の情報を載せたり、国際交流に関する記事を載せることはできないのか。

事務局:生涯学習情報サイトについて補足させていただきます。現時点で考えているものは、市が行っている講座や教室だけではなく、民間が行っている講座や教室についても情報収集し、掲載することにより生涯学習の裾野を広げることにつなげたい。なお、紙面に限りがあるため、広報に生涯学習担当で毎月1ページを使うことは難しい。

3. その他

委員長:事務局から報告事項などないか。なければ、これをもって、本日の生涯学習推進委員会を終了する。